

教育委員協議会での高知西高校と高知南中学校・高知南高校の学校関係者の
皆様からの主なご意見に対する回答

1 高知西高校 (H26. 7. 24 第 10 回教育委員協議会)

(校名)

○ 統合を検討する前に、校名をどうするかを決める必要がある。

A 高知西高校の関係者の皆様が、校名等について強い思いを持たれていることは、県教育委員会としても、しっかりと受けとめさせていただいております。

一方、統合相手である高知南中学校・高知南高校の関係者の皆様も同じく強い思いを持たれておりますので、統合を決める前に校名等を決めるのは、事実上困難です。

お示ししている統合案は、

- ・生徒が急速に減少していく中で、本県、特に高知市及びその周辺地域の中央部における高等学校の定員の適正化を図ること
- ・南海トラフ地震の津波による影響を軽減すること
- ・新たな中高一貫教育校において、高知県のグローバル教育をリードする教育活動を実施すること

こうしたことで、本県、また、高知市及びその周辺地域の中央部における教育環境を充実していくために行おうとしているものであり、統合が遅れば遅れるだけ、将来の高校生にとって、不利な影響を及ぼすこととなります。

このため、まずは、急ぐ必要のある統合の方針を決めさせていただき、できるだけ早く統合の準備に取りかからせていただいたうえで、統合までには、一定の猶予期間がありますので、校名等については、その間に両校の関係者や県民の皆様のご意見もお伺いしながら県教育委員会として、責任を持って決定いたします。

○ 新たな学校の教育理念や教育内容をしっかり示してほしい。

A 高知県のグローバル教育が目指すものとして、「郷土を愛し、その発展に貢献できる人材の育成や、高い志をもち高知から世界へチャレンジできる人材の育成」を掲げております。

それを受けて、新しい中高一貫教育校の教育理念は、高知県の高等学校をリードするグローバル教育校として、また、こうした理念を実現することを通して生徒が高い志をもち、論理的思考力や判断力、表現力を身に付けた生徒を育成できると考えております。

また、こうした教育理念や教育内容については、統合が決定後に、スケジュールの中にもありますように、将来の高校生となる子供たちやその保護者等への広報活動を積極的に行ってまいりたいと考えております。

(統合後の学校)

- 併設中学校から高校に進学段階で普通科にも進むことができるようにしてほしい。
- 公立中学校からもグローバル教育科に入学できるようにしてほしい。

A 統合後の高等学校のグローバル教育科は、併設中学校からの中高の6年間で一貫して行うためのものとなっております。

しかし、併設中学校に入学した生徒の中には、その後の事情により普通科を希望するような場合も想定されますので、希望する生徒については、柔軟に対応してまいります。

また、高知南中学校の卒業生や外進生が、高校段階からグローバル教育科へ入学を望む場合も想定されます。

統合後の高等学校のグローバル教育科は、入学段階から、英検準2級相当の英語運用能力を持っていることを前提に授業を行ってまいりますので、高知南中学校の卒業生や外進生の中でも同様の実力を備えた生徒は、定員の範囲内でグローバル教育科への進学も認めることも検討していきたいと考えております。

- 中高一貫で行う、教育環境の充実のための次のような整備を望む。
 - ・中学生の給食
 - ・中学生用の寮
 - ・弓道場 など

A 統合決定後に、統合後の中高一貫教育校の全体的な整備の中で、その可能性を検討させていただきます。

2 高知南中学校・高知南高校（H26.7.22 第9回教育委員協議会）

（校名）

○ 統合を検討する前に、校名をどうするかを決める必要がある。

A 高知南中学校・高知南高校の関係者の皆様が、校名等について強い思いを持たれていることは、県教育委員会としても、しっかりと受けとめさせていただいております。

一方、統合相手である高知西高校の関係者の皆様も同じく強い思いを持たれておりますので、統合を決める前に校名等を決めるのは、事実上困難です。

お示ししている統合案は、

- ・生徒が急速に減少していく中で、本県、特に高知市及びその周辺地域の中央部における高等学校の定員の適正化を図ること
- ・南海トラフ地震の津波による影響を軽減すること
- ・新たな中高一貫教育校において、高知県のグローバル教育をリードする教育活動を実施すること

こうしたことで、本県、また、高知市及びその周辺地域の中央部における教育環境を充実していくために行おうとしているものであり、統合が遅れば遅れるだけ、将来の高校生にとって、不利な影響を及ぼすこととなります。

このため、まずは、急ぐ必要のある統合の方針を決めさせていただき、できるだけ早く統合の準備に取りかからせていただいたうえで、統合までには、一定の猶予期間がありますので、校名等については、その間に両校の関係者や県民の皆様のご意見もお伺いしながら県教育委員会として、責任を持って決定いたします。

（統合の仕方）

○ 統合であるのなら、須崎のような統合であればよい。（同時期にそのままの定員で統合）

A 高等学校は、学校ごとに特色や学校規模などに違いがあります。従って、学校の統合については、様々な統合の仕方があります。

例えば、須崎高校と須崎工業高校の統合案は、両校ともに、元来は1学年6学級規模であったものが、現在はそれぞれ生徒数が1学年3学級規模の学校になっておりますので、一時に両校の定員を合わせて1学年6学級規模の生徒数の学校にしようとするものです。

一方、高知南中学校・高知南高校と高知西高校の統合では、高知市とその周辺地域の中央部における生徒数の減少に対応するために、入学定員を一律に減じるのではなく、学校の統合によって入学定員を減すものですので、高知南中学校・高知南高校を募集停止にする計画となっております。

7月22日の教育委員協議会では高知南中学校の生徒が基本的に高知西高校へ進学するという別案もお示しさせていただいたところでは、

統合後の中高一貫教育校では、高知南中学校・高知南高校で培ってきたキャリア教育や国際理解教育、中高一貫教育のノウハウと高知西高校で取り組んできた語学教育を統合することで双方の取組を発展させることで、本県のグローバル教育をリードする高等学校にしてまいりたいと考えておりますので、なにとぞ、ご理解いただきますようお願いいたします。

- 後輩がいない期間が短縮されたといっても、最終年度は変わらない。
- 中学校は、高知南中学校に120人を入学させて、そのまま高知西高校の併設中学校に移る案と、また、高校は、入学定員を160人ずつにしておいて、合わせて320人とする案はどうか。

A ご提案いただきました案につきましては、別添の資料2のとおり検討させていただきましたように、教育活動における課題が多いため、実施は、極めて困難と考えます。

- 南と西に入学する中学生で、教育内容に差が出るのは疑問。同じ中学生であれば同じ教育をするのが基本。

A 統合後の中高一貫教育校の併設中学校に入学する生徒は、中高6年間の一貫教育を活用してグローバル教育科に進学することとなっており、特に国際バカロレアコースに進む生徒は、英語以外の授業の少なくとも1科目は、英語で行うこととなりますので、中学校卒業段階で、すべての生徒が英検準2級に相当する英語運用能力等を備えることを目標としています。

また、高知南中学校に入学する生徒については、統合後の中高一貫教育校の普通科に入学することとなっておりますので、中学生として求められるレベルの英検3級相当の英語運用能力を備えることを目標としています。

そのため、普通科に進む高知南中学校の生徒とグローバル教育科に進む併設中学校の生徒は、基本的な教育内容は、同じですが、語学教育では、違いがでてまいります。

- 須崎の統合では、検討期間を2年間設けている。こういったスケジュールを組む必要があるのではないかと。

A 高知南中学校・高知南高校と高知西高校の統合のスケジュールにつきましては、別添の資料3で進めることとしております。

その中で、統合に向けた取組として、校名等の取扱いは、平成27年度から28年度にかけて、学校関係者や県民の皆様のご意見を参考に県教育委員会として責任を持って決定することとしております。

(その他)

○ 統合決定後に、高知南中高校を志望する生徒が減少すると思うが、このことをどう考えるか。

A 将来の学校統合があることは、志望する生徒への一定の影響はあると思いますが、しっかりと教育環境の充実を図り、今まで以上の魅力ある学校にしていくことを、様々な機会をとらえて、受験生やその保護者に伝えていくことで、多くの受験生に志望してもらえるようにしてまいりたいと考えています。

○ 高知南中学校の生徒は、無条件で統合後の高校に進学させるべきではないか。

A 「高知南中学校から新しい中高一貫教育校に進学できるようにする」のは、高知南中学校の下の学年がいない期間が4年間あることへの対応として、3年間に限定して実施するものです。

一方で、内進にあたっては、新しい中高一貫教育校には、外進生も入学してくることから、県民への説明責任を果たすためにも学力定着状況などの総合的な評価を行うことが必要と考えています。

進学拠点校としての新しい高校で希望する進路実現に向けた学力をつけていただくように、しっかりと支援していくことで、基本的に希望する全員が新しい中高一貫教育校に進学できるように努めていきます。

○ 来年度からの教育内容の充実に向けて、もっと思い切った対策をとってもらいたい。

A 高知南中高校の・高知南高校の教育の充実する取組の計画(案)でお示しましたように、心のケア対策、グローバル教育の先取り、部活動の充実に向けた対策といった視点から思い切った教育活動の充実策を行います。

具体的には、平成27年度から教育センターに高校支援部(仮称)を新たに設置し、その担当の指導主事が高知南中学校・高知南高校に常駐して教育活動の強化を図ります。

また、平成32年度からは、教育センターの機能の一部を高知南中学校・高知南高校に移転して、すべての教育活動を支援します。

その他、キャリア教育支援員を常駐させることによる体験学習やインターンシップの充実、外国語指導助手の増員、留学への支援、部活動の充実に向けた対策としては、専門的な指導者の確保による強化や部活動の振興に向けた支援の強化(設備や用具の整備)などを行ってまいります。

これらの取組を通じまして、3年後の平成29年度には、国公立大学合格者30人などを掲げ、生徒の進路の実現に向けて取り組んでまいります。